

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

> **さいたま市立 大砂土東小学校** > > > > > >

1 学校教育目標

『自立と感謝 ～心ゆたかに かしく たくましく～』
 ○自分で考え判断・決定し、自分から行動する自立した人格の育成
 ○互いの違いを認め合い、自分に関わる全てに感謝できる人格の育成
 全校で“ありがとうキャンペーン”に取り組んでいます！



2 昨年度は大和田小と分校しました。今年度は創立 95 周年を迎えます。

■所在地：さいたま市見沼区大和田町 2-998 ■電話：048-684-8003
 ■FAX：048-684-8965 ■交通：東武アーバンパークライン大和田駅から徒歩 14 分

01 授業を核とした SDGs



各教科等の学習を通じて、SDGs の推進を図っています。

総合的な学習の時間では、第3学年【地域】「地いきのすてき、発見」、第4学年

【福祉】「共に生きる～みんなにやさしいユニバーサルデザイン～」、第5学年【環境】「みんなの SDGs 大作戦」、第6学年【自己の生き方】「マイ・グッド・ライフ 未来のわたし」の単元を設定しています。

昨年度は、第5学年の学習において、解決したい SDGs のテーマについて自分たちでできるプロジェクトを考えて実践しました。見沼区役所とロチャースに協力を依頼し、児童が制作した歌を流したり、ポスター掲示やキーホルダー配布などをしました。

これらの活動を通して、SDGs への関心を高め、新たな課題を設定して探究する姿は、目標 4「質の高い教育をみんなに」につながると考えています。



▲5年生「配布したキーホルダー」

02 児童が創り上げる学校生活



○児童会集会活動「松の子フェスティバル」

- ・異年齢集団での話し合い活動
- ・異年齢集団で創り上げるオリジナルのお店

子どもたちが、自分の思いや発想を意見として安心して出すこ

とができるような環境を整えています。

○「よりよい学校づくり」に向けた児童会活動の取組

- ・代表委員会 1100 人での最後の思い出作り「分校記念 全校で遊ぼう会」の開催
 ：「砂東クイズ大会」「ピラミッドじゃんけん大会」「大人数での猛獣狩り」
- ・幸せ福祉委員会 ペットボトルのキャップ回収 アルミ缶・スチール缶の回収
- ・整美委員会 落ち葉集めキャンペーン
- ・運動委員会 にぎにぎ・投げ投げキャンペーン
- ・給食委員会 「残さずに食べよう」の呼びかけ・おかわり隊

代表委員会や各委員会で「どんな学校にしたいか」を考え、話し合い、実践することで、社会に参画する意識を高め、目標 11「住み続けられるまちづくり」に貢献したいと考えています。また、リサイクル活動を推進したり、残さずに食べたりするなどの活動を通して、目標 12「つくる責任つかう責任」に寄与していきたいと考えています。



▲「ピラミッドじゃんけん大会」

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。

> **さいたま市立 見沼小学校** > > > > > > >

学校教育目標】

考える子 元気な子 仲良くする子

①みんな仲良し ②くもりのある ③ことの学び舎

【目指す児童像】

世界と向き合い、ゆめをもち、エマージェンシーを発揮できる子



■所在地：さいたま市見沼区東大宮 2-4-5 ■電話：048-663-7342
■FAX：048-663-9887 ■交通：JR東大宮駅西口徒歩 15 分

01 「個別最適な学び」の実現のために



本校では、「個別最適な学び」を実現するために、毎週水曜日の業前時間には、「スタディタイム」として、タブレットを活用して個別の学習に取り組んだり、動画を活用してより理解を深めたりしています。また、金曜日の業前活動では、「プログラミングタイム」を設定し、「プログラミング的思考」を育むための一環として、プログラミングツール等を使った活動にも取り組んでいます。

授業時間内でも「ミライシード」や「スタディサプリ」を効果的に活用しています。例えば、発展的な問題に取り組むことで得意分野をさらに伸ばしたり、前学年の問題を振り返り苦手分野を克服したりするなど、自分の力に見合った学習を選択して取り組んでいます。



さらに、学習やタブレット活用におけるつまずきを解消することができるように、自立学習ルームの整備など環境を整えています。

02 安全で安心な学校生活のために



本校では、児童が安全・安心に日々の生活を送ることができるよう、各学年で下記の取組を実践しています。それぞれの活動では、専門家の方を講師として

お招きし、発達段階に応じたお話や体験活動を行っています。活動を通して、児童一人ひとりが安全・安心な生活のために、自分にできることを考え、日々の生活に生かせるようにしています。

また、今年度も児童会が中心となっていじめ撲滅のために、全校で何ができるのかを考えて実践しています。安心した学校生活を送るため、全校児童が同じ目標に向かって活動を継続していきます。



1年：交通安全教室	2年：防犯教室
3年：スマホ・ネット安全教室	4年：自転車免許教室
5年：スクールロイヤーによるいじめ予防教室	
6年：スマホ・ネット安全教室、スクールロイヤーによるいじめ予防教室、薬物乱用防止教室	

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では S D G s 教育を推進しています。

> **さいたま市立** **片柳小学校** > > > > > > >

学校教育目標

「たくましく 学びをつむぐ やなぎの子」

目指す児童像

や やりぬく子
な なかま思いの子
ぎ きまりを守る子
の のびる子・のばす子
こ こころざしをもつ子



明治六年開校
開校一五三年

■所在地：埼玉県さいたま市見沼区東新井2 4 4 番地の1 ■電話：048-683-3174
■FAX：048-683-8971 ■交通：JR 大宮駅からバス25分 JR 北浦和駅からバス20分

01 地域の自然を大切に守り継承する心の醸成



絶滅危惧種に指定されているクマガイソウは、本校学区内に自生地があり、御厚意で子どもたちが見学させていただいています。また、学区内には園芸農家が多く、多種多様な園芸樹木が色とりどりに栽培されています。子どもたちは日常的にこうした環境の中で生活しているだけでな

く、花しょうぶ園や洋蘭栽培の様子を見学するなど、学校生活の中で、地域の自然と多くふれあい、その美しさや価値について学んでいます。美しくかけがえのない花を美しいと思う心や、他の場所にはない希少植物を守ってこうとする心を育てていきます。



02 地域で育つ・地域と育つ



明治6年(1873年)開校の本校は、親子何世代にもわたり本校卒という家庭も多く、学校と地域との関わりは、とても深く、温かなものとなっています。地域の伝統文化継承を目的としたお囃子体験、中学生と共に行う挨拶運動など、地域の中で自分の果たす役割を考える中で、地域を「ふるさと」として大切にしていける子どもたちを育成しています。



03 いじめや差別を許さない心の涵養



クラスの友達や登校班で一緒になる上級生・下級生など、子どもたちは学校生活で過ごすさまざまな集団の中で多くの他者と関わっています。仲間と共に生活する中で、多様性を尊重

しながらも、人として許されない行動は絶対に行わない気持ちを培っています。全市で行われるいじめ撲滅月間の活動はもとより、毎月のいじめ防止アンケートをはじめ、教育相談(毎月)、全校個人面談(年1回)等の機会を最大限活用し、子どもの心の変化に迅速に対応できる体制を整えています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。

> **さいたま市立 七里小学校** > > > > > > >

- 1 「なかよく助け合う子」「なんでもがんばる元気な子」「しっかり考えて学ぶ子」学校教育目標のもと、児童一人ひとりの可能性を伸ばす教育活動の推進
- 2 創立 155 年を迎え、親子 3 代が関わる地域に根差した学校
- 3 合言葉は「えがお かがやく 七里っ子」



■所在地：さいたま市見沼区東宮下 312 ■電話：048-683-3513
■FAX：048-683-8993 ■交通：東武アーバンパークライン七里駅徒歩 20 分

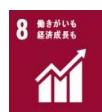
01 児童の安全・安心な「よりよい学校生活」のために



本校では、基礎基本の確実な定着と特別活動の研究を通して、「互いに認め合い、よりよい学校生活について考えることができる話し合い活動の充実」に力を入れています。すべての児童が自分の意見を言うことができ、話し合いのテーマに沿って平等に意見交換ができるよう指導をしています。また、児童会が作成する「いじめ撲滅スローガン」のもと、いじめゼロポスターやあいさつ運動・挨拶賞状に取り組むことで、児童全員が安心して充実した学校生活を送れるようにしたいと考えています。



02 児童のやる気を高め、主体的に活動に取り組むために



本校では、委員会活動や異学年で交流を行う縦割り班活動、各クラスの係活動を通して、働く意義について考えられるようにしています。そのために、委員会の活動計画は児童自身が考えられるようにし、より意欲と責任感をもって活動できるように支援しています。また、学級活動や縦割り班活動などそれぞれの活動の意義について児童に伝えるオリエンテーションを行うことで、児童一人ひとりが共通の思いをもって活動に取り組めるようにしています。

03 児童と資源の大切さを考え地域のよりよい生活のために



給食委員会では、「もりもりキャンペーン」を通して残菜ゼロを目指す取組を行っています。給食室の 1 日をビデオ放映したり、完食を目指す食育ビンゴ、食育すごろくなどを作成したりして、今ある食べ物を大切にできるよう指導しています。また、美化掲示委員会では、校庭のごみ拾いや落ち葉拾いを常時活動として活動しています。PTA やおやじの会と協力して年 2 回「クリーン活動」も行い、学校や地域の環境美化に取り組んでいます。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。

さいたま市立

春岡小学校



- 1 学校は勉強をするところ⇒基礎学力の保証
- 2 学校は友だちと仲よくするところ⇒自己指導能力の育成
- 3 学校は安心・安全なところ⇒すべての教育活動の前提

■ 所在地：さいたま市見沼区春岡2丁目29番地1 ■ 電話：048-683-3281

■ FAX：048-683-8974 ■ 交通：東武アーバンパークライン七里駅から徒歩20分 JR 宇都宮線 東大宮駅から国際興業バス アーバンみらい循環 春岡二丁目バス停下車 徒歩5分

01 ICTで未来の授業づくり



本校では令和5年度から「教科・領域における効果的なタブレット端末

利用法の開発」を研究主題に、指導の個別化を意識しながら、基礎・基本の定着を図る指導の工夫について研究を深めてきました。令和6年度は、児童が学習の中で自ら考え、方法を選んで行動できる授業のための素地作りをすることができました。令和7年度は、それまでの研修内容を基盤とし、学習の基礎となる「読解力」に焦点を当て、教材開発を進めることができました。

令和8年度は「“よりよく読む”ことで、自分の思いや考えをもつことのできる児童の育成」を研究主題とし、読んだものをもとに考えをもつ力や、主体的に読みに向かう態度を身につけることができる児童像を目指します。



02 自己指導能力の育成のために



本校では、児童が自己指導能力を向上させる機会を複数

設定しています。特別活動では、なかよしペア学級という縦割りの異年齢活動や、なかよし集会という全校集会が年に8回あります。代表委員や4年生以上の児童が、中心となって運営をします。なかよし除草、なかよし遊び、全校遊びがあり、下学年のペア児童や全校児童のことを考えて、児童は相談しながら活動内容を計画していきます。活動後には振り返りを行い、次の活動につなげています。学年行事では実行委員会の中で、たくさんの児童が自己指導能力を高める体験をしています。児童一人ひとりが成功体験を積み重ねることで、よりよい成長につながると考え、学校は児童の自主的な行動をサポートし、導いていきます。



03 安全で整備された教育環境づくり



本校では、月1回の定期的な安全点検に加え、毎日の点検も行っています。PTAでは、黄色の防犯ベストを全家庭に配付し、来校時の着用を促しています。犯罪の抑止力が期待されるだけでなく、保護者の防犯意識が高まり、児童の安心・安全につながっています。また、児童の心のケアとして、日々の観察やアンケート調査等から児童の発する小さなサインを見逃すことなく迅速な対応ができるように努めています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。

> **さいたま市立 蓮沼小学校** > > > > > > >

- 1 「かしこく」「やさしく」「たくましく」の学校教育目標のもと、地域と共に築く、笑顔あふれる学校づくりを進めています。
- 2 開校53周年を迎え、学ぶ喜びのある生き生きとした学校、あいさつが響き合う、安心、安全な学校、家庭や地域と心が通う学校を目指しています。
- 3 自ら学び、関わり合い、高め合う子ども、自他を大切にし、思いやりのある子ども、心身を鍛え、最後まで粘り強く取り組む子どもの育成を目指しています。



■所在地：見沼区蓮沼1070番地
■FAX：048—684—8964

■電話：048—684—3678

■交通：東武アーバンパークライン七里駅徒歩10分

01 自ら学ぶ力を育てる授業改善と学習習慣の確立

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



本校では、「主体的・対話的で深い学び」の実現を通して、児童を「自立した学習者」へ育てることを目的とし、学びの指標をもとに、主体的な学び及び探究的な学びの充実と、ICT を効果的に活用した授業の実現を柱として研究を進めています。基礎・基本の定着を前提としつつも、より一人ひとりの理解の程度や学びの課程に寄り添った指導を充実させることを目指しています。

学びのポイント「じ・し・ゃ・く」を意識した学習を展開し、教職員が互いに授業を見合うことで指導力の向上を目指して、日々の授業実践を行っています。さらに、教職員指導力向上研修を定期的実施し、児童への指導に還元できるようにしています。

02 健康に対する意識を高め、よりよい生活を心がけるために

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



本校では、毎月1回、朝の時間を使って、全学年一斉に保健指導を行っています。養護教諭を中心に、毎月の保健目標に関わる取組や講話、ハンカチ・ティッシュ調べ等を行うことで児童の健康に関する意識を高め、よりよい生活を心がける態度を育成しています。また、外部講師を招いての保健教室や健康・安全に関する職員研修などの充実にも努めています。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。

> **さいたま市立 大谷小学校** > > > > > > >

学校教育目標 『生き生き きれいな学校』

《めざす児童像》

「自ら学び、自ら活動する子」 「豊かな心をもつ子」 「最後までがんばる子」

◎子どもたち一人ひとりが「通ってよかった、大谷小！」と思える学校づくりの推進

■所在地： さいたま市見沼区大字大谷 18 番地 ■電話：048-685-8511
■FAX：048-685-5137 ■交通：東武アーバンパークライン大和田駅から徒歩 30 分

01 環境教育の充実

委員会活動、PTA 活動の継続的なリサイクル活動の取組



本校では、資源リサイクルの活動に取り組んでいます。委員会活動では、チョボラ委員会を中心に、ペットボトルキャップ回収に取り組んでいます。全校児童に呼びかけ、各学級に設置している回収箱のチェックを行っています。多くの児童が、家庭等で集めたペットボトルキャップを積極的に持ってきています。

美化委員会では、紙ごみの回収に取り組んでいます。紙専用のごみ箱を各学級に設置し、余ったプリントや工作などで使った紙の切れ端などを他のごみと分別し、リサイクルごみとして出しています。

PTA 活動では、月 2 回古紙回収を行っています。牛乳パックや段ボールを児童が持ってきています。地域の方のご協力もいただき、毎回、たくさんの資源が集まっています。

今後も継続していくことで、資源の再利用の大切さや環境問題等について考える児童を増やしていきたいと考えています。

02 学びの向上大谷小プランの取組

「学ぶ楽しさを味わい、自ら学びに向かう児童の育成」を目指す授業の推進



本校では、『「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実』をテーマに国語科・算数科・社会科の学習と特別支援教育に関して専門部やパートに分かれながら組織的に研究へ取り組んでいます。

「個別最適な学び」では、思考ツール・ルーブリック評価・ICT の活用による基礎学力の定着を図り、「協働的な学び」では従来の授業スタイルにとられない学び方や学ぶ相手を選択できる授業の工夫について実践→共有→改善をしています。

これらにより、児童一人ひとりが学ぶ楽しさを味わい、主体的に学習に取り組むことを目指しています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会は SDGs 教育を推進しています。



本校は、知・徳・体・コミュニケーションの調和のとれた豊かな人間性と、広い視野をもち、社会を生き抜く力を身につけた児童の育成を図るため、子ども、教員、保護者、地域社会等それぞれの立場の共通の目標を教育目標として掲げている。

〈学校教育目標〉

やさしく	思いやりのある子	思いやる心 感動する心 協力する心
かしこく	考える子	思考力 創造力 判断力 表現力
元気よく	元気な子	心身の健康 実践力 体力



■所在地：さいたま市見沼区島町 533-2

■電話：048-685-0607

■FAX：048-685-5187

■交通：JR 宇都宮線 東大宮駅 東口徒歩 20 分

01 「考える子」を育てるための教員の授業力の向上

・個別最適な学びの充実



本校では、学習規律や学習ルールを徹底させ、学習への取組意識を向上させるとともに、学校課題研修のテーマでもある「指導の個別化による授業改善」に全教職員で取り組んでいます。個別最適な学びの充実を図るために、基礎・基本の定着を図るとともに、1人1台端末の活用についても研修を行い、日々の授業改善を行っています。令和8年度は、新たに配備された学習者用端末の効果的な活用について事例を収集・共有し、児童の学習に生かしていきます。また、全国学力・学習状況調査やさいたま市学習状況調査の問題の分析や児童実態の把握、教育委員会の指導主事を招聘しての研修会など学校をあげて、教師の授業力向上及び子どもの学力向上に努めています。



02 開かれた学校づくりの推進



本校では、地域に根ざした教育を推進するために、地域人材や周辺施設、企業・大学と連携した学習に力を入れています。

【令和7年度実績：（地域人材）昔遊び・町探検・戦争体験講演・二水会による読み聞かせ（施設）うらわ美術館出張授業・消防署見学・大宮東図書館見学・スーパーマーケット見学（企業）ALSOK 安全教育・セントラルスポーツ講師による着衣泳、芝浦工業大学と連携した活動の実施など】

令和8年度は、開校50周年記念行事を地域・PTAと連携して実施します。また、保護者や地域の方に積極的な情報発信を行うために、文書配信アプリの導入や学校ウェブページの充実を図っております。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。



さいたま市立

東宮下小学校



1 「かしこく・やさしく・たくましく・一生懸命に」を学校教育目標に、『豊かな心をもち、互いに認め合う児童の育成』を推進しています。

2 見沼の豊かな自然環境を生かし、地域での体験活動の重視した教育活動を推進しています。



■所在地：さいたま市見沼区東宮下 215 番地 1

■電話：048-685-3652

■FAX：048-685-5119

■交通：東武アーバンパークライン七里駅徒歩 30 分

01 地域の米作りから学ぶ

田植えから稲刈り、そして秋祭りに至るまでの体験活動へ



校区に広がる見沼たんぼの一部をお借りし、地域の農家の協力を得て、「学校ふれあい田」として、全学年で春には田植え、秋には稲刈り、そして収穫した米を活用した秋祭り「宮下まつり」を企画・体験する活動を行っている。

春、1 学年児童は、田んぼの泥に苦戦しながら上級生の手助けもあって、稲の苗を植える。学年が上がるごとに田植えの手つきや、稲刈りの鎌の扱いに慣れ、6 学年ともなると友達と協力しながら、あっという間に田に実った稲穂を収穫していく。収穫後は、「東宮下米」として販売を行った。また、地域の稲作指導者を招いて、稲わらを使った児童によるミニぼうき作りやリース作りなどの体験活動を行った。

5 学年では、総合的な学習の時間のテーマを「東宮下米づくりを受け継ごう」とし、地域の米作りについて調査・研究した内容を社会科の学習において発表している。



02 ヨーロッパ野菜作りから学ぶ

キャリア教育の視点から、児童の「自立」につながる活動へ



6 学年の職業体験を通じて、会社づくりから利益の運用までの流れを知り、社会人として必要な資質・

能力を身に付けることができるように「ヨーロッパ野菜づくりと販売の工夫」を取り上げ、学習を進めている。

さいたま市内の種苗会社から学習のために苗を購入し、地域の農家へ発芽から苗まで育ててもらい、地域連携コーディネーターを通じて連携を図りながら、学級担任が、地域の農業指導者や地域の企業の力を借りて学習を進めている。

児童は、学校畑でヨーロッパ野菜を植えて育てている。夏季の高温で根付きにくい事等、栽培に関して難しい面もあるが、児童たちは害虫が発生しても、農薬を使わずに育てる難しさを実感したり、水はけを良くするための側溝づくりや、防風ネットを張るなどの工夫を学んだりしている。また、実際に働く方の話を聞いて販売の工夫を学び、収穫した野菜を実際に販売し、学校や企業、農家へ還元していく等の働く喜びを実感させる活動を行っている。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDG s 教育を推進しています。



さいたま市立

海老沼小学校



スローガン

かしこく やさしく たくましく生き抜く子 笑顔と挨拶があふれる学校づくり

めざす児童像

主体的に考える子

(知) かしこく

思いやりや感動する心をもった子

(徳) やさしく

心身ともに健康な子

(体) たくましく

生涯学び続ける子
(生き抜く子)

めざす学校像

学ぶ喜びのある学校

人との関わり合いを大切に、地域と共に歩む信頼された学校

安心・安全で美しい学校

めざす教師像

確かな授業力を持ち、個に応じた指導ができる教師

豊かな人間性を備え、子どもに添った指導のできる教師

教育者としての使命感のある教師

■所在地：さいたま市見沼区大字東新井710番地5

■電話：048-686-2125

■FAX：048-686-5350

■交通：JR 大宮駅東口よりバスで南中野バス停下車5分

01 すべての生き物を大切にする豊かな心を育む環境教育



本校には、自然を学び、親しむことのできるビオトープが整備されています。以前に行ったSDG s アワードに向けての取組をもとに、これまで本校の児童は自然や環境保全の理解を深めてきました。

さらに今年度から児童会が中心となって、動物や植物を育つ環境を見守る活動にも取り組んでいく計画になっています。児童代表会議を意見話し合い、キャッチフレーズやイベントを企画、運営して生き物を大切にする取組を、すべての児童に広げようとしています。



02 世界すべての人の幸せを願って行動する心育む福祉教育



児童委員会の一つである環境委員会の取り組みとして、ペットボトルキャップを回収しています。これは回収業者に資源として引き取られ、その時生じた金額の一部が、「世界の子どもにワクチンを 日本委員会」に寄付されます。その後当委員会はユニセフと連携して世界のワクチン工場へ発注し、製造・空輸されて支援国に届けられます。どの学年の児童も、この取組に参加し環境委員会児童はペットボトルキャップの収集率が上がるよう、様々な工夫を凝らしています。この取り組みが、児童の互いに助け合おうとする心を育む一端を担っています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。



さいたま市立

春野小学校



目指す学校像

「元気いっぱい 笑顔いっぱい 感動いっぱい 春野っ子」

- 1 学ぶ楽しさや喜びを味わい、互いに磨き合うことができる学校
- 2 安全に配慮し美しく整えられた環境づくりがなされている学校
- 3 家庭・地域との連携を深め、地域と共に生きる学校



■所在地：さいたま市見沼区春野 1-10-1 ■電話：048-685-3055

■FAX：048-685-3488

■交通：東大宮駅よりバスで「春野小学校」下車 徒歩 2 分

01 環境保全に寄与する児童を育てる環境教育の充実



本校は環境教育の取組を教育活動の柱の一つに位置付けています。本校の目の前には多目的遊水地があり、ここには、一年を通して野鳥が飛来し、絶滅危惧種のタコノアシの自生も確認されている自然豊かな場所です。本校は、この立地条件を生かし、総合的な学習の時間を中心に、地球に優しい主体的な行動がとれる

児童の育成を目指しています。総合的な学習の時間では、多目的遊水地の生き物調査やごみ調査をもとに考え、議論し、「ごみ〇作戦」を実践、委員会の活動では、牛乳パックリサイクル事業への協力、学校単位として、ごみの分別、PTAと連携した古紙等の資源回収事業への協力を行っています。

また、昨年度の取組を継続し森林資源（＝陸の豊かさ）の保護として配布文書のペーパーレス化を推進しています。



02 「自助」・「共助」ができる児童を育てる防災教育の推進



いつ発生するか分からない地震、火災等の自然災害に対して、正しい判断をし、自分の命を自分自身で守っていく力を児童に身に付けさせていくことも学校教育においては大切です。

本校では、「自ら安全な行動ができる」、「自らの命は自分で守ることができる」児童の育成を目指しています。

カリキュラムを見直し、学習内容に則して実際の行動につなげるため第4学年での実施に変更し、これまで学んだ知識に加えて起震車体験を通しより防災への理解を深めています。安全指導では、地震や火災だけでなく、竜巻対応訓練、シェイクアウト訓練、防火シャッター作動・防火扉体験訓練等の多様な訓練を実施しています。



03 地域の特色を生かした「春野っ子米スマイル30プロジェクト」



創立 30 周年を契機に、地域の特色を生かして児童自身が米作りを体験し、できあがった米を給食としていただく「春野っ子米スマイル30プロジェクト」を実施しました。1 度かぎりの取組にならないよう実施学年を第5学年のみとし活動内容も精選することで持続可能な取組としています。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。

> **さいたま市立 大和田小学校** >>>>>>>>>>

仲良く 賢く たくましく ～瞳を輝かせ 希望をもって活動する子の育成～

◆笑顔で登校し、一人ひとりの児童が瞳を輝かせて活動する学校

◆保護者が地域とともに歩み、多世代にわたる学びを深める学校

■所在地：さいたま市見沼区大和田町1丁目2000番地 ■電話：048-795-9647
■FAX：048-795-9844 ■交通：東武アーバンパークライン大和田駅より徒歩15分

01 新たにデザインされた学校を生かした多様な学びの実現



大和田小学校は、多様な学びを実現するため、教室がオープンスペースのつくりとなっています。教室という枠だけでなく、開かれた廊下や共有スペースを有効的に活用しながら、新たな学びを実現していきます。またさいたま市教育委員会の示した「学びのポイント（じしゃく）」の視点に基づく授業改善を図りながら、子ども一人ひとりが個別最適な学び、協働的な学びを通して、主体的に学び、考えることができるように、児童の育成に努めていきます。

02 保幼小の連携を生かした教育の実現



大和田小学校には、保育園が内設されたつくりとなっています。そこで、内設保育園との連携を生かし、幼児期からの連続した教育の実現を目指します。保幼小のつながりを大切に、子ども同士のかかわりや、発達段階に応じた学びの連続性を意識した教育に努めていきます。年齢の異なる子どもたちが交流する活動や、互いの生活や学びを知る機会を計画的に実施し、児童の思いやりの心や自己有用感、責任感の育成に努めていきます。

03 地域の核となる学校づくりの推進



大和田小学校は、学校運営協議会を中心としながら、地域・家庭と積極的な連携を図りながら、地域ぐるみで全児童を育てていきます。児童のエージェンシーを育むコミュニティ・スクールとして体制を整備し、推進を図り、児童の育成に努めていきます。